

壇 20 24

為等に生れ大入り足跡かな
6.3 1:55 am

地宮とまでととびろと巻き直す
2:13 am

割れ石楯 あまりのここといふ下うに
14:47

信濃あさ千曲に上る 若若
22:25

女子も衣つて目の等をし
6.5 4:27 am

この季節は仰かぬといふ 野雲
6.5 8:35 am

子結あな

うらぶらぶ 孔 若もをぬく
6.6 20:50

お復岸中 20:59
6.7 6:3 am



2ツナとナワ

郵便受に こりと春のまうけり
6.7 3:37 am

毒舌青も白舌 朝顔 能は異
6.7 3:58 am

母の日の道 細母と子人上
6.7 9:59 am
6.15 5:33 am
6.19 5:35 am

母の園をにかりいことありさうな
18:30

かほいこかほいさうとの 西路の夜
6.10 16:50

可憐いさうと可憐いは 55 重の園依存のこよう

原田治の任事 P138

はばばあちとローこの月を唄ふなう
6.10 16:58

紅白の梅あはちはと接かな
6.11 5:15 am

地下鉄の形

壇 20 24 a 6.14 5

草の先⁴ 6.16 17.00 程のからある 6.15 5:35 am
先^先端 程のから付く 6.16
草の先に 6.15 4:10 am
6.14 13:00

自由に 6.15 4:10 am
6.16 17:02

にかに 6.15 5:42 am
6.18 5:15 am
も 6.16 16:59

家あつ了了 6.16 16:59
she's leaving home

芽吹きたる 6.17 16:45
その芽の先に 程のから

去年今年 6.17 16:50
地下一寸に 程のから
服子 程

初云や 6.17 19:40
三寸

6.18 5:18 am

2

2024.6.19 【俳壇賞2024 プランA 全45】 選13句

6.20

3

壇郵便受にことりと春の来りけり 壇雪折の見事な枝を生けてある

壇自らに驚いてゐる蝶の羽化 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇家出する娘のハンカチーフかな 母の日にふと道綱母のこと

壇信濃から千曲に上る鮎若し 子子も食つて目高の子の育つ

壇はああとローマの月を唄ふなり 孟蘭盆会死者も元気であるらしき

壇初雪や地下三寸に種あまた 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇湯豆腐の忌ともいふべきうすあかり

~~母の目も道綱にて 6.21
母ふりて 6:53
7:22~~

~~一万六千~~

用塔

芽吹きたるの殻から種を吹かす
6.21 6:22 am

みかけ 6.21 7am 6.20 11:25 am

これ見ると 道綱母の舌を柳足
6.20 3:13 am

向用か 3:43 am

母の目も道綱にて 6.21 7:59 am

ふたり

けさきまき

2024.6.28 俳壇賞2024 プランA 全67

6.29

5

選16句

壇 郵便受にことりと春の来りけり

壇 燃えるゴミに帽子入れけり初時雨

上6

6.29 0:54 am

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 初雪や地下三寸に種あまた

の中に帽子や 0:55 am

帽子が 6:32 am

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

この雪が 6:29 6:30 am 地下の浅きと 6:33 am

この雪が地中に 6:38 am

壇 春なれや短き花の命さへ

壇 雪折の見事な枝を生けてある

壇 母の日や小倉百人母ふたり

涙ととき首とすくめし芽の輪かま 6:29 6:15 am
なんとなく すくめて

壇 家出する娘のハンカチーフかな

壇 信濃から千曲に上る鮎若し

壇 子子も食つて目高の子の育つ

ひより好んで 6:20 am

壇 生贄の如く浮んで夏の海

仰向けに海に沈んで星月夜 6:29 6:13 am

壇 孟蘭盆会死者も元気であるらしき

壇 祖父母父母而して我秋の風

6:55 am

6:31 am

壇 はああとローマの月を唄ふなり

2024.6.29 俳壇賞2024 プランA 全82

6.29

6

選16句

6.29 9:55 am

12行3段組14ポ 2024年6月29日 08:15 へ1 桐10

壇 郵便受にことりと春の来りけり

壇 燃えるゴミの中に帽子が初時雨

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 雪折の見事な枝を生けてある

壇 信濃から千曲に上る若き鮎

壇 ふる雪の地中に眠る種あまた

壇 春なれや短き花の命さへ

壇 積雪 12:10

壇 母の日や小倉百人母ふたり

壇 香と袂 12:13

壇 家出する娘のハンカチーフかな

壇 土中に 12:21

壇 子子も食つて目高の子の育つ

壇 元氣な目高の子 6.29 9:54 am

壇 仰向けに海に浮べば星月夜

壇 孟蘭盆会死者も元氣であるらしき

壇 祖父母父母而して我秋の風

壇 はああとローマの月を唄ふなり

12:05
他
帽子
12:20

2024.6.29 【俳壇賞2024 プランA 全95】 選16句

6.29

7

壇 郵便受にことりと春の来りけり

壇 燃えるゴミとなりし帽子や初時雨

18:12

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 雪折の見事な枝を生けてある

壇 信濃から千曲に上る若き鮎

壇 去年今年土中に眠る種あまた

壇 春なれや短き花の命さへ

はかるとも 18:15

土の中 土に眠れり 16:58 16:50

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 家出する娘のハンカチーフかな

壇 子子も食つて元気な目高の子

壇 仰向けに海に浮べば星月夜

壇 孟蘭盆会死者も元気であるらしき

壇 祖父母父母而して我秋の風

壇 はああとローマの月を唄ふなり

2024.6.29 俳壇賞2024プランA 全10選15句

6.30
7.1

8

壇 郵便受にことりと春の来りけり

壇 燃えるゴミとなりし帽子も初時雨

決りし7.1 14:25

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 信濃から千曲に上る若き鮎

と目撃す 6.30 11:47am

壇 春なれや花の命のはかなさも

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 家出する娘のハンカチーフかな

水曜の朝の松のハンカチーフ 7.1 12:38

壇 子子も食つて元気な目高の子

壇 仰向けに海に浮べば星月夜

壇 孟蘭盆会死者も元気であるらしき

壇 祖父母父母而して我秋の風

壇 はああとローマの月を唄ふなり

二次元の放射線群 是れ砂華 7.1 2:56 am

かりそめの二次元の女 佐のせの 7.1 14:18 3:10 am

針金玉の中に振れて

2024・7・2【俳壇賞2024プランA全120】 選19句

7.2
7.3
7.4

壇 郵便受にことりと春の来りけり

壇 孟蘭盆会死者も元気であるらしき

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 祖父母父母而して我秋の風

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 はあああとローマの月を唄ふなり

壇 信濃から千曲を目指す若き鮎

壇 キヤベツぱりぱり青虫の齒型なり

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 燃えるゴミと決りし帽子初時雨

壇 春なれや花の命のはかなさも

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 紅白はアラブにもありチライリップ

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 水曜の朝の娘のハンカチフ

壇 子子も食つて元気な目高の子

壇 空蟬と博物館の大鏡

壇 仰向けに海に浮べば星月夜

受け止めて 7.3
梅雨の空に 4:58
雨の音 7.4 am

Q+Mはララ? not

紅白 7.4
アラブの 5:24
チライリップ 7.4 am

9

5:01 am
5:02 am
5:09 am

に出されし 7.2 22:50

雪に巻かれ 7.4 0:10 am

2024.7.4 俳壇賞2024 プランA 全13句 選19句

7.4
7.7
7.8

10

12行3段組14ポ 2024年7月4日 11:41 へ1 桐10

壇 郵便受にことりと春の来りけり 壇 孟蘭盆会死者も元気でゐるらしき

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶 壇 祖父母父母而して我秋の風

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻 壇 はあああとローマの月を唄ふなり

壇 信濃から千曲を目指す若き鮎 壇 キヤベツぱりぱり青虫の齒型なり

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪 壇 燃やせるごみ専用袋冬帽子

壇 春なれや花の命のはかなさも 壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 母の日の小倉百人母ふたり 壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 水曜の朝の娘のハンカチフ

壇 子子も食つて元気な目高の子

壇 あけまして梅雨より更に耐へ難し

壇 空蟬と博物館の大鏡

壇 仰向けに海に浮べば星月夜

月丸し
7.8
15:53

白鳥の胎香く浮ぶなり
着水す
7-8
15:50

7.8
15:54

致
全(句末)

右(ハ) 左(ハ)

芭蕉
子奴
花子

2024.7.8 俳壇賞2024 プランA 全140 選20句

7.9
7.10

壇 郵便受にことりと春の来りけり

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 信濃から千曲を目指す若き鮎

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 春なれや花の命のはかなさも

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 水曜の朝の娘のハンカチフ

壇 子子も食つて元気な目高の子

壇 あけまして梅雨より更に耐へ難し

壇 空蟬と博物館の大鎧

壇 孟蘭盆会死者も元気であるらしき

壇 祖父母父母而して我秋の風

壇 はあああとローマの月を唄ひけり

壇 仰向けに海に浮べば月丸し

壇 キャベツぱりぱり青虫の歯型なり

壇 燃やせるごみ専用袋冬帽子

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 白鳥の腸重く着水す

壇 去年今年土の中なる種あまた

鴨の群の足はかり見ゆ

鯉の上

12行3段組14ポ 2024年7月8日 23:09へ1 桐10

まことなまこ
カメラの蚊の
牡丹を
2024
7.10
18:10

汗かかぬ
齡さむしこむに
むす
7.10
16:05

昆虫はくろ
7.10
15:18

キャベツぱりぱり
青虫の歯型なり
7.10
3:45am

鏡ま
歯型
7.9
8:12am

11

2024・8・9【俳壇賞2024 A 全18句】 選23句

P.6

15

壇 郵便受にことりと春の来りけり

壇 昼寝して畳を愛づる手足かな

壇 音読みと訓読みのあり暖かし

壇 二三日予報通りの夕立なり

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 孟蘭盆会死者も元気でゐるらしき

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 はああとローマの月を唄ふなり

壇 頭よくなりさう目刺の苦き食ふ

壇 仰向けに海に浮べば月丸し

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 信濃から千曲を目指す若き鮎

壇 蚯蚓鳴け肉声ならば聞いてやる

8.6
15.17

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 春なれや花の命のはかなさも

壇 火事跡の黒き柱の無念かな

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 白鳥の腸重く着水す

壇 背を裂いてまだ白色の油蟬

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 汗かかぬ齡さびしと句に記す

2024.8.6
2024.8.7
【俳壇賞2024 A 全198】 選26句

壇 郵便受にことりと春の来りけり

壇 汗かかぬ齡さびしと句に記す

壇 古傷の疼きを舐めつ冬眠す

壇 音読みと訓読みのあり暖かし

壇 昼寝して昼を愛づる手足かな

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 二三日予報通りの夕立なり

壇 疼きに耐へて

壇 啓蟄や畑の石を畦に投ぐ

壇 孟蘭盆会死者も元気でゐればよし

壇 疼くかまきに

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 はああとローマの月を唄ふなり

壇 疼く町まじり冬眠す

壇 頭よくなりさう目刺の苦き食ふ

壇 仰向けに海に浮べば月丸し

壇 眠る

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

壇 藁塚を縄文人はまだ知らず

壇 古傷を舐めてなれた

壇 信濃から千曲を目指す若き鮎

壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 5:12 am

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 蚯蚓鳴け恋も愁ひも聞いてやる

壇 5:25 am

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 5:30 am

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 火事跡の黒き柱の無念かな

壇 5:22 am

壇 背を裂いてまだ白色の油蟬

壇 白鳥の腸重く着水す

壇 5:16 am

12行3段組14ボ 2024年8月6日 18:06 桐10

傷の疼きを舐めつ冬眠す 4:50 am

疼きに耐へて 8:7 5am

疼く町まじり冬眠す 5:25 am

古傷を舐めてなれた 5:12 am

2024.8.8
 2024.8.7 [壇2024a] 選24句
 17
 209

壇 郵便受にことりと春の来りけり 壇 汗かかぬ齡さびしと句に記す

壇 音読みと訓読みのあり暖かし 壇 昼寝して昼を愛づる手足かな

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶 壇 二三日予報通りの夕立あり

壇 啓蟄や畑の石を畦に投げ 壇 孟蘭盆会死者も元気でゐればよし

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻 ~~壇~~ はああとローマの月を唄ふなり

壇 頭よくなりさう目刺の苦き食ふ 壇 藁塚を縄文人はまだ知らず

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す 壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 信濃から千曲を目指す若き鮎 壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪 壇 火事跡の黒き柱の無念かな

壇 春なれや花の命のはかなきも 壇 白鳥の腸重く着水す

壇 母の日の小倉百人母ふたり 壇 古傷を舐めて宥めて熊眠る

壇 背を割つてまだ白色の油蟬 壇 去年今年土の中なる種あまた

うさぎ
 8.8
 6:20 am

午後五時
 8.8
 6:30 am

言付と峰
 8:30 am

また痛む
 8:33 am

時に
 8:33 am

2024・8・8 俳壇賞2024 A 全21句 選24句

8.9.
8.11

18

壇 郵便受にことりと春の来りけり 壇 背を割つてまだ白色の油蟬

壇 音読みと訓読みのあり暖かし 壇 汗かかぬ齢さびしと句に記す

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶 壇 昼寝して昼を愛づる手足かな

壇 啓蟄や畑の石を畦に投げ 壇 二三日予報通りの夕立あり

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻 壇 孟蘭盆会死者も元気でゐればよし

壇 頭よくなりさう目刺の苦き食ふ 壇 葉塚を縄文人はまだ知らず

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す 壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 信濃から千曲を目指す若き鮎 壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪 壇 火事跡の黒き柱の無念かな

壇 春なれや花の命のはかなきも 壇 白鳥の腸重く着水す

壇 母の日の小倉百人母ふたり 壇 時に疼く古傷を舐め熊眠る

壇 半袖の白タイトスカート黒 壇 去年今年土の中なる種あまた

12行3段組14ポ 2024年8月8日 10:23 桐10

不依の探まうして山脈子 6:01 am
もりの世字
すつかり靖えて 5:53 am
る縁の影もまじ山脈子 8:11 5:44 am

湯湖に万ののの字を
録名Aにんて
2024.8.12
7:55 am

この統計の「時」は書き
直し
8/12 4:32 am

2024.8.11【俳壇賞2024 A 全225】 選26句

8.12
4キ△
19

壇 郵便受にことりと春の旅信かな

壇 音読みと訓読みのあり暖かし

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 啓蟄や畑の中の石の数

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 頭よくなりさう目刺の苦き食ふ

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

壇 信濃から千曲を目指す若き鮎

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 袖なしの白タイトスカート黒

壇 背を割つてまだ白色の油蟬

壇 汗かかぬ齢さびしと句に記す

壇 昼寝の昼を愛がる昼寝かな

壇 二三日予報通りの夕立あり

壇 孟蘭盆会死者も元気でゐればよし

壇 遠雷も蝸も消え月淡し

壇 葉塚を縄文人はまだ知らず

壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 万緑の面影もなく山眠る

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 火事跡の黒き柱の無念かな

壇 白鳥の腸重く着水す

壇 時に疼く古傷を舐め熊眠る

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 去年今年土の中なる種あまた

12行3段組14ボ 2024年8月11日 16:49 桐10

去る行く郵便受もそのひと
ものにもがな
7:41 am
8.12 7:40 am

桐の蝸を呼ぶかな
かながさうかなかな
4:28 am
8.12 4:42 am
4:44 am

去年今年土の中なる種あまた
去年今年土の中なる種あまた
8.12 7:30
4:52 am

2024・∞・12【俳壇賞2024 A 全25句】選28句

8.12
8.13
" 9 7
8.14

20

壇 春やまづ旅へいざなふふみ書かな

壇 背を割つてまだ白色の油蟬

壇 時に疼く古傷を舐め熊眠る

壇 音読みと訓読みのあり暖かし

壇 汗かかぬ齢さびしと句に記す

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 直に寝て昼を愛づる昼寝かな

壇 古い先を照らす初日の目出度さよ

壇 啓蟄や畑の中の石の数

壇 二三日予報通りの夕立あり

壇 春を待つ郵便受の虚ろかな

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 孟蘭盆会死者も元気でゐればよし

壇 頭よくなりさう目刺の苦き食ふ

壇 ~~かなかなのカナカナと鳴くことも~~

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

壇 藁塚を縄文人はまだ知らず

壇 信濃から千曲を指す若き鮎

壇 キヤベツさくさく青虫の硬き顎

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 万緑の面影もなく山眠る

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 火事跡の黒き柱の無念かな

壇 袖なしの白、タイトスカートの黒

壇 白鳥の腸重く着水す

~~壇~~

カナ

カ

函目 8.13 0:50 am

8.12 14:02

冬眠に昔の信の土俵くさす

8.14 11:17 am

初日の目 14:15

8.14 14:04

2024・∞・14 【俳壇賞2024 A 全26】 選27句

壇 春やまづ旅へいざなふみ書かな 8.14 8.15 5:16

壇 背を割つてまだ白色の油蟬

壇 音読みと訓読みのあり暖かし

壇 汗かかぬ齢さびしと句に記す

壇 自らに驚いてる羽化の蝶

壇 直に寝て昼を愛づる昼寝かな 8.14 13:42

壇 啓蟄や畑の中の石の数

壇 二三日予報通りの夕立あり

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 孟蘭盆会死者も元気でるればよし

壇 頭よくなりさう目刺の苦き食ふ

壇 蕘塚を縄文人はまだ知らず

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 信濃から千曲を目指す若き鮎

壇 万緑の面目もなく山眠る

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 火事跡の黒き柱の無念かな

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 白鳥の腸重く着水す

壇 袖なしの白、タイトスカート黒

壇 冬眠に昔の傷の疼くなり 8.15 5:22 am

① 刻みおれて 昔ののよさをのそくまらぬ 8.14 15:40

21

西南方の夏に (ア)
病子や蝶子の糸
8.18 1:50 am

釘は4Pき蝶子は地に
日記 8.18
23:48

糸は叩かて
蝶子と通じと
日記 8.19
2:53 am

3Pめれと
2:59 am

2024・8・15 【俳壇賞2024 A 全26選27句】

8.15
8.16
" 8.17
" 8.18
8.19
8.24

(22)

自づから秋の夜

8.24
5:30 am

12行3段組14ポ 2024年8月15日 06:13 へ1 桐10

壇 春やまづ旅へいざなふみ書かむ

壇 音読みと訓読みのあり暖かし

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 啓蟄や畑の中の石の数

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 頭よくなりさう目刺の苦き食ふ

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

壇 信濃から千曲を目指す若き鮎

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 袖なしの白、タイトスカート黒

8.16 3am

壇 背を割つてまだ白色の油蟬

壇 汗かかぬ齡さびしと句に記す

壇 直に寝て昼を愛づる昼寝かな

壇 二三日予報通りの夕立あり

壇 孟蘭盆会死者も元気であればよし

壇 藁塚を縄文人はまだ知らず

壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 万緑の面目もなく山眠る

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 白鳥の腸重く着水す

壇 冬眠に昔の傷の疼く時

壇 刻まれて葱の長さのなくなりぬ

8.19 2:56 am

8.18 11:53 am

しめあはしねの夜 ~ 13:45 秋の夜の運を社にしめあはして 13:47

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 古い先を照らす如く初日の出

壇 春を待つ郵便受の虚ろかな

長き衣の不幼の蝶子の弦かたは

糸の夜の不幼かな

微かにせせりしめられ

緯ぬられ蝶子は幼かぎ衣の長き

秋の夜

幼のちやや

しめあはしねの夜や

8.16 10:58 am

しめあはしねの夜

8,24
" "

23

壇 春やまづ旅へいざなふふみ書かん

壇 背を割つてまだ白色の油蟬

壇 冬眠に昔の傷の疼く夜

壇 音読みと訓読みのあり暖かし

壇 汗かかぬ齢さびしと句に記す

壇 刻まれて惹の長さでなくなりぬ

壇 自らに驚いてる羽化の蝶

壇 南方の夏に病死や餓死の兵

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 啓蟄や畑の中の石の数

壇 直に寝て昼を愛づる昼寝かな

壇 老い先を照らすが如く初日の出

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 二三日予報通りの夕立あり

壇 春を待つ郵便受の虚ろかな

壇 頭よくなりさう目刺の苦き食ふ

壇 孟蘭盆会死者も元気でゐて欲しい

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

壇 秋の夜の茶に膨らんで螺子の錆

壇 信濃から千曲を目指す若き鮎

壇 藁塚を纏文人はまだ知らず

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 キヤベツさくさく青虫の硬き顎

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 万緑の面目もなく山眠る

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 袖なしの白、タイトスカート黒

壇 白鳥の腸重く着水す

は寂し 8,24 12,55

と 8,24 12,56

の兵隊は病死、餓死 12,57

神牛、飢えて死す 16,7

嬉し 16,9

焦燥に螺子の錆 8,24 12,59

2024・∞・24【俳壇賞2024 A 全29句】 選29句

8.24

24

壇 春やまづ旅へいざなふふみ書かん

壇 背を割つてまだ白色の油蟬

壇 冬眠に昔の傷の疼く夜

壇 音読みと訓読みのあり暖かし

壇 汗かかぬ齡さびしと句に記す

壇 刻まれて葱の長さでなくなりぬ

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 南方の夏の神兵飢ゑて死す

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 啓蟄や畑の中の石の数

壇 直に寝て昼を愛づる昼寝かな

壇 古い先を照らすが如く初日の出

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 二三日予報通りの夕立あり

壇 春を待つ郵便受の虚ろかな

壇 頭よくなりさう目刺の苦き食ふ

壇 孟蘭盆会死者も元氣でゐて嬉し

壇 秋の夜の焦茶に螺子の頭かな

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

壇 信濃から千曲を目指す若き鮎

壇 櫻とは言はずもがなの花吹雪

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 万緑の面目もなく山眠る

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 袖なしの白、タイトスカート黒

壇 白鳥の腸重く着水す

壇 汗かかぬ齡さびしと句に記す

壇 南方の夏の神兵飢ゑて死す

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 直に寝て昼を愛づる昼寝かな

壇 二三日予報通りの夕立あり

壇 春を待つ郵便受の虚ろかな

壇 孟蘭盆会死者も元氣でゐて嬉し

壇 秋の夜の焦茶に螺子の頭かな

壇 信濃から千曲を目指す若き鮎

壇 櫻とは言はずもがなの花吹雪

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 万緑の面目もなく山眠る

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 袖なしの白、タイトスカート黒

壇 白鳥の腸重く着水す

2024・∞・24【俳壇賞2024 A 全30之選句

8.25

25

29

壇 春やまづ旅へいざなふふみ書かん

壇 背を割つてまだ白色の油蟬

壇 冬眠に昔の傷の疼く夜

壇 音読みと訓読みのあり暖かし

壇 汗かかぬ齡さびしと句に記す

壇 刻まれて葱の長さでなくなりぬ

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 神兵の夏、ジャングルに飢ゑ死にす

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 啓蟄や畑の中の石の数

壇 直に寝て昼を愛づる昼寝かな

壇 古い先を照らす如く初日の出

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 二三日予報通りの夕立あり

壇 春を待つ郵便受の虚ろかな

壇 頭よくなりたし目刺の苦き食ふ

壇 孟蘭盆会死者も元気で会ひに来る

壇 春を待つ郵便受の虚ろかな

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

壇 秋の夜の螺子の頭の錆びついて

壇 春を待つ郵便受の虚ろかな

壇 信濃から千曲を目指す若き鮎

壇 藁塚を縄文人はまだ知らず

壇 春を待つ郵便受の虚ろかな

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 春を待つ郵便受の虚ろかな

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 万緑の面目もなく山眠る

壇 春を待つ郵便受の虚ろかな

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 春を待つ郵便受の虚ろかな

壇 袖なしの白、タイトスカート黒

壇 白鳥の腸重く着水す

壇 春を待つ郵便受の虚ろかな

やきんばい

8.25 0:50 am
8.25 0:18 am
8.25 0:35 am

7 8.25 0:33 am

2024・8・25 俳壇賞2024 A 全30選 30句

8.25
"
8.26

12行3段組14ポ 2024年8月25日 07:11へ1桐10

壇 春やまづ旅へいぎなふみ書かん

壇 背を割つてまだ白色の油蟬

壇 白鳥の腸重く着水す

壇 音読みと訓読みのあり暖かし

壇 汗かかぬ齢さびしと句に記す

壇 冬眠に昔の傷の疼く夜

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 ~~神兵~~の夏、ジャングルに飢えて死す

壇 刻まれて葱の長さでなくなりぬ

壇 啓蟄や畑の中の石の数

壇 直に寝て昼を愛づる昼寝かな

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 二三日予報通りの夕立あり

壇 古い先を照らす如く初日の出

壇 頭よくなりたし目刺の苦き食ふ

壇 孟蘭盆会死者も元気な顔見せよ

壇 春を待つ郵便受の虚ろかな

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

壇 錆びつきし螺子の頭や秋の夜

壇 信濃から千曲を目指す若き鮎

壇 屋上に稲妻を呼ぶ妻が立つ

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 藁塚を縄文人はまだ知らず

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 万緑の面目もなく山眠る

壇 袖なしの白、タイトスカートの黒

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

↑
返る
8.26
4:7 am

我
10:30 a m
8.25
8:25 am

稲の妻
10:40 a m
我が立つ
男
8.26
4:10 am

21

2024.8.26
 俳壇賞2024 A 全32句 選30句

27

12行3段組14ポ 2024年8月26日 06:31 ↑桐10

壇 春やまづ旅へいぎなふふみ書かん
 壇 背を割つてまだ白色の油蟬
 壇 白鳥の腸重く着水す

壇 音読みと訓読みのあり暖かし
 壇 汗かかぬ齢さびしと句に記す
 壇 冬眠に昔の傷の疼く夜

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶
 壇 神兵の夏、ジャングルに飢えて死ぬ
 壇 刻まれて葱の長さでなくなりぬ

壇 啓蟄や畑の中の石の数
 壇 直に寝て昼を愛づる昼寝かな
 壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻
 壇 二三日予報通りの夕立あり
 壇 古い先を照らすが如く初日の出

壇 頭よくなりたし目刺の苦き食ふ
 壇 孟蘭盆会死者も元気な顔見せよ
 壇 春を待つ郵便受の虚ろかな

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す
 壇 錆びつきし螺子の頭や秋の夜

壇 信濃から千曲へまはる若き鮎
 壇 屋上に稲妻を呼ぶ男かな

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪
 壇 藁塚を縄女人はまだ知らず

壇 春なれや花の命のはかなきも
 壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 母の日の小倉百人母ふたり
 壇 万緑の面目もなく山眠る

壇 袖なしの白、タイトスカートの黒
 壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

27

8.26 7:40 am
 8.26 7:40 am
 8.26 7:40 am

8.26 7:42am

8.26 7:43 am

2024・8・26 俳壇賞2024 A全33句 選30句

8.26
8.27
" 8.29

壇 春やまづ旅へいぎなふふみ書かん

壇 背を割つてまだ白色の油燗

壇 白鳥の腸重く着水す

壇 音読みと訓読みのあり暖かし

壇 汗かかぬ齢さびしと句に記す

壇 冬眠に昔の傷の疼く夜

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 神兵の夏、ジャングルに飢えて死ぬ

壇 刻まれて葱の長さでなくなりぬ

壇 啓蟄や畑の中の石の数

壇 直に寝て畳を愛づる昼寝かな

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 二三日予報通りの夕立あり

壇 古い先を照らすが如く初日の出

壇 頭よくなりたし自刺の苦き食ふ

壇 孟蘭盆会死者も元気な顔見せよ

壇 春を待つ郵便受の虚ろかな

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

壇 錆びつきし螺子の頭や秋の夜

壇 春の

壇 信濃から千曲へ上る若き鮎

壇 屋上に稲妻を呼ぶ女の子

壇 8.27 0:30 am

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 藁塚を縄文人はまだ知らず

壇 日暮の一滴の冷え夜の秋

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 10:57 am

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 万緑もはかなかりしが山眠る

壇 8.27 0:45 am

壇 袖なしの白、タイトスカートの黒

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 8.27 0:30 am

8.29 10:5 am
8.29 9:16 am

8.29 9:16 am

2024.8.29 9:15 am

2024・∞・29 俳壇賞2024 A 全35句 選30句

8:30

29

12行3段組14ポ 2024年8月29日 19:29 ↑ 桐10

壇 春やまづ旅へいざなふふみ書かん

壇 東の間の白無垢まとふ油蟬

壇 白鳥の腸重く着水す

壇 音読みと訓読みのあり暖かし

壇 汗かかぬ齢さびしと句に記す

壇 冬眠の古傷疼く夜なりけり

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 神兵の夏、ジャングルに飢えて死ぬ

壇 刻まれて葱の長さでなくなりぬ

壇 啓蟄や畑の中の石の数

壇 ぢかに寝て畳をめづる昼寝かな

壇 去年今年土の中なる種あまた

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 二三日予報通りの夕立あり

壇 古い先を照らすが如く初日の出

壇 頭よくならむ目刺の苦き食ふ

壇 孟蘭盆会死者も元気な顔見せよ

壇 春を待つ郵便箱の虚ろかな

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

壇 錆びつきし螺子の頭や秋の夜

壇 信濃から千曲へ上る若き鮎

壇 屋上に稲妻を呼ぶ女の子

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 藁塚を縄文人はまだ知らず

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 万緑もはかなかりしよ山眠る

壇 袖なしの白、タイトスカート黒

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

スウコウカクシカ甲
& プレミアム
限定トイ

アセリvs 幸い
イラズ
夜えぬカキ

このことハ 辞書
星の林
8:30
William
D2024
plan B

壇 東の間の白無垢まとふ油蟬
取られてはさきでししの油蟬
8:30
3:53 am

壇 二三日予報通りの夕立あり
きはす
8:30
5:00 am

Plan B
FF24
拾ひしものは
4:15 am

長き夜の静寂
たのしみ
8:30
4:12 am

壇 春やまづ旅へいざなふふみ書かん

壇 東の間の白無垢をこそ油蟬

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 音読みと訓読みのあり暖かし

壇 汗かかぬ齢さびしと句に記す

壇 冬眠の古傷疼く夜なりけり

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 神兵の夏、ジャングルに飢ゑて死ぬ

壇 刻まれて葱の長さでなくなりぬ

壇 啓蟄や畑の中の石の数

壇 ぢかに寝て昼をめづる昼寝かな

壇 年越や土の中なる種あまた

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 二三日予報違へず夕立あり

壇 古い先を照らすが如く初日の出

壇 頭よくならむ目刺の苦き食ふ

壇 孟蘭盆会死者も元気な顔見せよ

壇 春を待つ郵便箱の虚ろかな

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

壇 錆びつきし螺子の頭や秋の夜

壇 信濃から千曲へ上る若き鮎

壇 食ふ食す食む食ぶ秋の混ぜ御飯

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 屋上に稲妻を呼ぶ女の子

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 藁塚を縄文人はまだ知らず

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 袖なしの白、タイトスカート黒

壇 万緑もはかなかりしよ山眠る

FM
 夏
 8:31
 5:21
 am

FM
 予報違へず夕立あり
 8:52
 am
 8:30
 8:45
 am
 大夕立
 8:19
 am
 8:30
 8:7
 am

30

と
 8:30
 8:1
 8
 am

6句削除
全78句→81

2024・∞・31【俳壇賞2024 A 全367郵便箱】 選30句

31

死2老2命1寂2

12行3段組14ボ 2024年8月31日 10:23 へ1 桐10

壇 春やまづ旅へいぎなふふみ書かん

~~2~~ 壇 汗かかぬ齡さびしと句に記す

~~8~~ 壇 冬眠の古傷疼く夜なりけり

壇 音読みと訓読みのあり暖かし

~~3~~ 壇 神兵の夏、ジャングルに飢えて死ぬ

壇 刻まれて葱の長さでなくなりぬ

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 ぢかに寝て昼をめづる昼寝かな

壇 年越や土の中なる種あまた

壇 啓蟄や畑の中の石の数

壇 予報たがへず連日の大夕立

~~9~~ 壇 古い先を照らす如く初日の出

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

~~4~~ 壇 孟蘭盆会死者も元気な顔見せよ

~~10~~ 壇 寂しさに冬の芽を吹く薔薇かな

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

~~5~~ 壇 錆びつきし螺子の頭や秋の夜

壇 春を待つ郵便箱の虚ろかな

壇 信濃から千曲へ上る若き鮎

壇 食ふ食す食む食ぶ秋の混ぜ御飯

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 屋上に稲妻を呼ぶ女の子

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 藁塚を縄文人はまだ知らず

壇 母の日の小倉百人母ふたり

~~熱中~~ 壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 袖なしの白、タイトスカートの黒

~~6~~ 壇 万緑も一炊の夢山眠る

壇 束の間の白無垢をこそ油蟬 ~~7~~ 壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

かまぼこの紅は春を待つ
8, 31, 16, 00

2024.9.1
 24・∞・31 【俳壇賞2024 A 全292郵便箱】 選25句

32

12行3段組14ポ 2024年8月31日 17:49へ1桐10

壇 春やまづ旅へいぎなふふみ書かん

壇 ぢかに寝て畳をめづる昼寝かな

壇 からつぽの郵便箱や春を待つ

壇 音読みと訓読みのあり暖かし

壇 予報たがはず連日の大夕立

の 9月 24日 9:14am
 2024 9/1 4:35am

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 食ふ食す食む食ぶ秋の混ぜ御飯

壇 啓蟄や畑の中の石の数

壇 屋上に稲妻を呼ぶ女の子

日 9月 24日 9:14am
 2024 9/1 4:35am

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 藁塚を縄文人はまだ知らず

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 信濃から千曲へ上る若き鮎

壇 みづからの影をつぶして熟柿落つ

12 9/1 14am

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 万緑も一炊の夢山眠る

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 刻まれて葱の長さでなくなりぬ

壇 袖なしとタイトスカート白と黒

壇 年越や土の中なる種あまた

12 9/1 27am

壇 東の間の白無垢をこそ油蟬

壇 寂しさに冬の芽を吹く薔薇かな

12 9/1 20am

12 9/1 22am

12 9/1 21am

2024.6.1【俳壇賞2024 A 全302郵便箱】 選25句

9.1

33

壇 春やまづ旅へいざなふふみ書かん

壇 ぢかに寝て畳をめづる昼寝かな

壇 からつぽの郵便箱や春を待つ

壇 音読みと訓読みのあり暖かし

壇 予報たがはず連日の大夕立

に添へる 9.1 8:35am
に全れし 8:44am

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 充実の九月の昼と夜とかな

半片舌くた 平も舌し 2024 9.1 7am
天の山

壇 啓蟄や畑の中の石の数

壇 食ふ食す食む食ぶ秋の混ぜ御飯

好きの 9.1 9:58am

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 屋上に稲妻を呼ぶ女の子

落穂打てりかたの 日改 10:35am

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

壇 藁塚を縄文人はまだ知らず

壇 信濃から千曲へ上る若き鮎

壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 みづからの影をつぶしに熟柿落つ

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 万緑も一炊の夢山眠る

大いこの破葉と立葉 春の音 10:17am
お天と人の分け合ふ 破葉かな 10:21am

壇 袖なしにタイトスカート白と黒

壇 刻まれて葱の長さでなくなりぬ

湖の小舟に浮ぶ 2024 9.1 10:32am
其の 50葉

壇 東の間の白無垢をこそ油蟬

壇 年越や土の中なる種あまた

正徳かし 寝るさる 13:7
酸葉やも

2024.6.1 【俳壇賞2024 A 全325郵便箱】 選28句

9.2
9.3
9.4

34

壇 春やまづ旅へいぎなふみ書かん

壇 蛞蝓を気味悪がるや蝸牛

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 音読みに~~生れし~~訓読み暖かし

壇 ぢかに寝て昼をめづる昼寝かな

壇 刻まれて葱の長さでなくなりぬ

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

~~壇 予報たがはず連日の大夕立~~

壇 年越や土の中なる種あまた

壇 啓蟄や畑の中の石の数

壇 充実の九月の昼と夜とかな

壇 からつぽの郵便箱や春を待つ

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻

壇 食ふ食す食む食ぶ秋の混ぜ御飯

9.2
15:43

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

壇 湖の水面に浮ぶ草の絮

壇 信濃から千曲へ上る若き鮎

壇 屋上に稲妻好きの女の子

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪

壇 車庫長く電車も長し天の川

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 藁塚を縄文人はまだ知らず

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 袖なしにタイトスカート白と黒

壇 みづからの影をつぶしに熟柿落つ

壇 東の間の白無垢をこそ油蟬

壇 万緑も一炊の夢山眠る

あなただけ 2024
9.2
24 32句に 7:48am

松去に拾ひの老かうけり
2024
9.4
10:49
am

2024・9・4【俳壇賞2024 プランA 全32】 選28句

9.4
9.5

35

12行3段組14ポ 2024年9月4日 11:10へ1桐10

壇 春やまづ旅へいぎなふふみ書かん

壇 蛞蝓を気味悪がるや蝸牛

壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 ~~あたたかや暖といふ字を訓読みに~~

壇 ぢかに寝て畳をめづる昼寝かな

壇 刻まれて葱の長さでなくなりぬ

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶

壇 ~~充実の九月の昼と夜とかな~~

壇 年越や土の中なる種あまた

壇 啓蟄や畑の中の石の数

壇 食ふ食す食む食ぶ混ぜ御飯の秋

壇 からつばの郵便箱や春を待つ

壇 芽吹きたるその芽の先に種~~の殻~~

壇 湖の水面に浮ぶ草の絮

壇 ~~透る水には~~

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す

壇 屋上に稲妻好きの女の子

壇 ~~透る水には~~

壇 信濃から千曲へ上る若き鮎

壇 車庫長く電車も長し天の川

壇 ~~透る水には~~

壇 桜とは言はずも~~が~~な花吹雪

壇 松虫に松の緑のなかりけり

壇 ~~透る水には~~

壇 春なれや花の命のはかなきも

壇 藁塚を縄文人はまだ知らず

壇 ~~透る水には~~

壇 母の日の小倉百人母ふたり

壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎

壇 ~~透る水には~~

壇 袖なしにタイトスカート白と黒

壇 みづからの影をつぶしに熟柿落つ

壇 ~~透る水には~~

壇 東の間の白無垢をこそ油蟬

壇 万緑も一炊の夢山眠る

壇 ~~透る水には~~

友へ更...
6:57 am

おし...
6:44 am

まづ...
9.4
22:55

透る水には...
9.5
9:32 am

2024・9・5【俳壇賞2024 プランA 全32】 選29句

9.5
9.6
9.8
9.10
9.12

36

12行3段組14ポ 2024年9月5日 10:22 ↑ 桐10

壇 あたたかや暖といふ字を訓読みに 壇 蛞蝓を気味悪がるや蝸牛 壇 万緑も一炊の夢山眠る

壇 春やまづ旅へいぎなふみ書かん 壇 重くれの山に滴る軽みかな 壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 自らに驚いてる羽化の蝶 壇 ぢかに寝て畳をめづる昼寝かな 壇 刻まれて葱の長さでなくなりぬ

壇 啓蟄や畑の中の石の数 壇 食ふ食す食む食ぶ混ぜご飯の秋 壇 年越や土の中なる種あまた

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻 壇 草市のこは箒なるや籠なるや 壇 からつぽの郵便箱や春を待つ

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す 壇 屋上に稲妻好きの女の子 壇 下6 もう2:2 am

壇 信濃から千曲へ上る若き鮎 壇 車庫長く電車も長し天の川 壇 2024 9.12 5 am 増えす

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪 壇 松虫に松の緑色なかりけり 壇 増量のたの暇や秋草し 9.8 1:35 am

壇 春なれや花の命のはかなきも 壇 夜の時間増量されし九月かな 壇 増量の九月の夜は江村かま 1:38 am

壇 母の日の小倉百人母ふたり 壇 藁塚を縄文人はまだ知らず 壇 我は我 9.10 14:18

壇 袖なしにタイトスカート白と黒 壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎 壇 増量 9.10 14:18

壇 東の間の白無垢をこそ油蟬 壇 みづからの影をつぶしに熟柿落つ

春をセリ出し 2024 9.8 6:30 am

まっ時不日送る 天の川 2024 9.11 23:55

下6 もう2:2 am

増量のたの暇や秋草し 9.8 1:35 am

我は我 9.10 14:18

2024・6・13 俳壇賞2024 A 全20句 選30句
 9.13 9.14 37 212 43/116

12行3段組14ボ 2024年9月13日 22:11 へ1 桐10

壇 あたたかや暖といふ字を訓読みに 壇 蛞蝓を気味悪がるや蝸牛 壇 みづからの影をつぶしに熟柿落つ

壇 春やまづ旅へいぎなふふみ書かん 壇 重くれの山に滴る軽みかな 壇 万緑も一炊の夢山眠る

壇 自らに驚いてゐる羽化の蝶 壇 ぢかに寝て畳をめづる昼寝かな 壇 膝に来る猫も老いたる炬燵かな

壇 啓蟄や畑の中の石の数 ^{小石まへん 9.14 13:20} 壇 食ふ食す食む食ぶ混ぜご飯の秋 壇 刻まれて葱の長さでなくなりぬ

壇 芽吹きたるその芽の先に種の殻 壇 草市のこは笹なるや籠なるや 壇 年越や土の中なる種あまた

壇 蛇穴を出でてとぐろを巻き直す 壇 屋上に稲妻好きの女の子 壇 からつぽの郵便箱や春を待つ

壇 信濃から千曲へ上る若き鮎 壇 車庫長く電車も長し天の川 壇 ^芽

壇 桜とは言はずもがなの花吹雪 壇 松虫に松の緑色なかりけり 壇 ^{芽吹くをう金豆の夢 2024 9.22 9:26 am}

壇 春なれや花の命のはかなきも 壇 露けしや平成生れもう増えず 壇 露けしや平成生れもう増えず

壇 母の日の小倉百人母ふたり 壇 秋の夜の増量されてゐたりけり 壇 秋の夜の増量されてゐたりけり

壇 袖なしにタイトスカート白と黒 壇 藁塚を縄文人はまだ知らず 壇 藁塚を縄文人はまだ知らず

壇 東の間の白無垢をこそ油蟬 壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎 壇 キャベツさくさく青虫の硬き顎